

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言～

平成31年3月11日(月) No.57
発行人

痛みに耐えているので最近あまり
笑っていない川崎先生。<m()m>

◇最近の雑感10連発◇

①長休みに一輪車を練習している子どもたちが、職員室にある道具を借りに来る。座面の高さや向きを変えるために調整ハンドルを回すのだが、これが固いためにたたかなくてはならない。その道具である。それは「トンカチ」。子どもたちはみんな「トンカチ」と呼ぶ。が、そもそもこのトンカチって何語？。物を打つものを「槌(つち)」と呼ぶが、先が金属なら「金槌(かなずち)」、木製なら「木槌(きづち)」。英語だとハンマー。釘を打つものなら「玄能(げんのう)」だ。どこにもトンカチの語源になるような言葉はない。まあ、トントン・カチカチと打つからか。それしか思いつかない。調べても不明らしい。あー、深く考えて損した気分(ー_ーメ)

②あやめホールを通りかかる。ふと上を見ると理科室で4年生が何か作業している。通りかかった川崎に一人が気づいて手を振ってくれる。思わず笑顔で手を振り返す。それに気づいた子どもたちがまた手を振り、振り返すという連鎖が起きる。たったこれだけのことです。はい。でも、メチャクチャうれしいんです。はい。

③体育館方向へ作業をするために向かう。1年生と出会う。「あーっ、校長先生!!」。「校長先生だあー!!」。何か珍しいものを見たように声を張り上げるから1年生は不思議。出会うだけで幸せな気分。ここでも手を振り、振り返し、ハイタッチ。

④逆に体育館方面から校舎へ。今度は2年生と出会う。「昨日、教頭先生が校長先生の給食を食べて、太って、なんちゃら・・・。とお父さんが言ってたよ」。はい、報告ありがとうございます。家族の中で学校のことを話題になってることがうれしい。

⑤マスクの下のほっぺたにガーゼを当てて登校してきた1年生。赤くなっている。“どうしたの?”と聞くと、しばらく考え込んでから“わかんない!”。ま、そういうこともあるさね(^_^)。

⑥なぜだあ、なぜだあ、なぜなんだあ〜。朝からジャンケン連敗。瞬殺それも一瞬で4人に負ける(T_T)。でもでもでもでも(小島よしお風に)、家の近所の女の子だけには5連勝。なんかね、負ける気しないんですわ<(`^´)>。

⑦みどりの広場の掃除。枯葉を掃き集めて、さて捨てようかと思った瞬間に、チリトリを持ち走る3年男の子。些細な事かもしれないけれど、“今ここでやるのは自分”という“場を感じ取る”ことが普通に身についている。こういう世の中がいい。そしていつものように5年教室から「ありがとうございます」の声がかかる(^_^)v

⑧一年生の男の子が近寄ってくる。そして真下から川崎を見上げながら「校長先生～、市民活動フェスタで会ったね♡」。単なる事実報告も川崎にはラブコール。

⑨家のパソコン壊れました。仕方がないのでネットで中古買いました。9000円。十分です。使っている“はし”の先が折れたので新品買いました。100均。身の丈に合ってます。ご飯に味噌汁かけるとこの上なく美味しい。これが私の味覚。

⑩校長室の窓から外を見る。気づいたグラウンドの5年生が飛び上がって両手を振る。飛び上がって両手を振り返す川崎。他人には見せられないオヤジのはしゃぎ姿。